

小田原テニスガーデンは北側コート8面の夜間照明をLED投光器にリニューアル。消費電力の少ない長寿命のLED照明を採用したことで、省エネ、省メンテナンスに貢献し、既存照明と同等以上の明るさを確保しながら快適にプレーができる照明環境をつくり出しています。また、施設の西方には箱根の山々を望むことができ、自然環境も最適なロケーションの中、市民に愛されるテニスコートとなっています。

小田原市が目指す「生涯スポーツの振興」を実現するため、スポーツ施設では、小田原市総合文化体育館、小田原アリーナ、小田原テニスガーデン、城山陸上競技場等を擁しています。小田原テニスガーデンは1997年8月に開設。テニスコート16面、うち夜間照明設備北側8面に設置し、観客席（椅子席、芝スタンド）、管理棟や駐車場も完備。2020年3月にはLED照明の改修工事が完了しました。



【物件概要】  
所在地：神奈川県小田原市蓮正寺 83 - 1  
施設規模：テニスコート 16 面（砂入り人工芝コート）  
照明面積：約 5,365 ㎡  
施主：小田原市  
運営：小田原スポーツ・文化運営企業体  
照明更新施工：南三木電気工事  
照明更新完成：2020 年 3 月



8 基の既設照明柱を活かして 8 面のテニスコートを LED 投光器①でムラなく明るく照射。

### テニスコートの夜間照明をLED投光器に更新し省エネ化。明るくムラのない快適なプレー環境を実現。

既設の全天候型テニスコートの夜間照明は、北側コート8面のベースライン後方のコート間に照明柱（13.4 m高、コート面から 14.8 m）8基を配置し、1基当たり照明架台部に HID ランプ投光器を 9 台（下段×中段×上段各 3 台）計 72 台設置していました。今回、夜間照明のリニューアル工事では、この既設照明柱を流用して、メタルハライドランプ 1kW 相当の LED 投光器（広角配光）を照明架台部に同位置、同台数で取替え、照明柱 1 基当たり LED 投光器 9 台× 8 基、合計 72 台が新たに新設されました。照度は公式競技レベルを想定して全点灯時平均照度約 500

ルクスを得ており、プレーに支障のない明るさを確保すると共に、均斉度 0.85（最小照度 / 平均照度）と高く、また、プレーの妨げになるグレアを抑えつつ、上空のボールが見やすい良好な光環境をつくり出しています。消費電力が少なく、光源寿命 40,000 時間の LED 照明を採用したことで、大幅な省エネ（既存 HID 器具比約 52%削減）、省メンテナンスに貢献しつつ、使用状況に応じてコート別点灯も可能とし、さらに LED 照明の特性である瞬時点灯・再点灯や虫が寄りにくいなどの利点も活かして夜間も明るく安全・快適にプレーできる照明環境を創出しています。



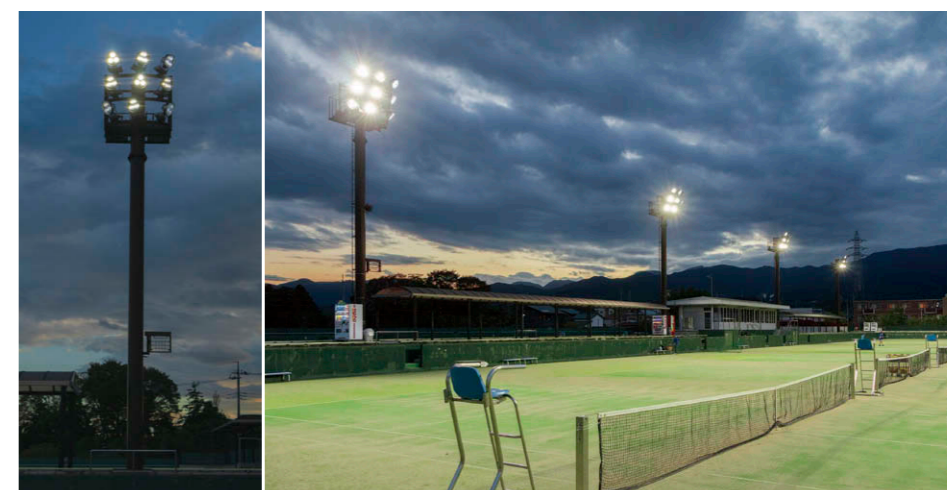
（上）照明架台部（消灯時）  
（左）LED投光器①搭載照明柱（No.8）の消灯時。



昼間のテニスコートの照明 8面のベースライン後方のコート間に照明柱4基を対面配置（合計8基）。



テニスコートのナイター照明 照明柱1基当たりLED投光器①9台×8基合計72台を設置。



LED投光器①搭載照明柱（No.8）の点灯時。 ネット越しに見えるLED投光器によるナイター照明 コート8面の片面を照らす LED投光器①搭載の照明柱4基。

主な掲載器具一覧				
設置場所	器具名（品種名）	形名	台数	備考
屋外テニスコート	① LED 投光器	LEDS-50409NW-LJ2（広角形）	72	消費電力：499W